

患者さまの権利

1. 個人の人格や価値観が尊重され、尊厳が守られます。
2. 良質かつ適切な医療を受ける権利があります。
3. 自分自身の病状や治療に関して十分な情報提供を受け、自己の意思で治療法を選択、決定する権利があります。
4. プライバシーが守られ、個人情報が保護されます。
5. 医療の内容を知るために、診療録の開示を求める権利があります。
6. 他施設の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります。

病院概要

病 院 名	医療法人せいわ会 大阪たつみリハビリテーション病院
病 床 数	120床（回復期リハビリテーション病棟 120床）
診 療 科 目	内科、リハビリテーション科
理 事 長	福澤 正洋
院 長	齊藤 正伸
所 在 地	〒544-0015 大阪市生野区箕南3丁目19番3号

アクセス

電車でお越しの方

大阪メトロ千日前線
「南巽」駅から徒歩3分

車でお越しの方

阪神高速14号松原線
平野ICより北へ約5分





自分らしさをとりもどす、 精一杯のお手伝い

当院は3つの病棟（計120床）すべてが回復期リハビリテーション病棟のリハビリテーション専門病院です。2024年5月に増改築工事が完了。リハビリテーション専門病院ならではの設備や機器だけではなく、リハビリテラスやリハビリハウスといった退院後の生活を見据えた設備も備えております。



基本方針

01

患者さまの立場から発想し、
いつも謙虚な気持ちで個と組織を改善します。

02

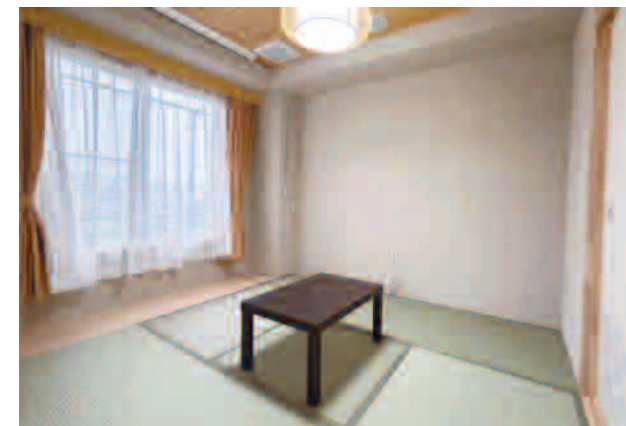
最先端の知識と技術を習得し、安全・安心で
質の高い患者さま中心のチーム医療を実践します。

03

患者さまの立場から発想し、
いつも謙虚な気持ちで個と組織を改善します。



院内設備について



心地よい空間づくり

リラックスした入院生活を送っていただけるよう、視覚的に温もりを感じさせる木目調を基調としたデザインを採用しています。木目の自然な風合い心に安らぎを与え、心地よい空間を作り出します。さらに、細部にまでこだわった内装は、まるで自宅で過ごしているかのような安心感を提供し、リハビリに集中しやすい環境を整えています。

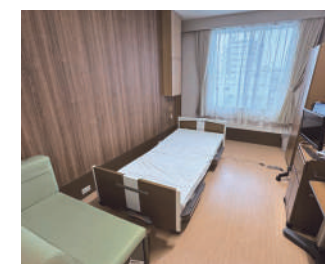


プライバシーと快適さを両立したリハビリ病室

各病室は、プライバシーに配慮した家具が設置され、使用時以外は医療ガス設備や医療機器電源を隠せるようになっており、圧迫感なく快適な空間でお過ごしいただけます。



特別個室（トイレあり）



個室（トイレなし）



大部屋

これからの生活に貢献する

できる喜びと

< Rehabilitation >

当院のリハビリテーションについて

「できる喜びとこれからの生活に貢献する」を部署理念とし、患者さまが退院された先をイメージしたリハビリテーションの提供に力を入れています。患者さまが入院から退院まで円滑にリハビリテーションが進むように、チームスタッフは常にコミュニケーションを図っていきける体制作りにも力を入れています。

毎日が充実した量を提供するリハビリテーション

在宅復帰率

90%



疾患別割合

脳血管疾患

6割



運動器疾患

3割

廃用症候群

1割



平均リハビリ提供時間
(患者さまの1日あたり)

2時間40分以上



リハビリ セラピスト数

85名

※2024年度平均



早期から歩行練習

自分の足で歩く



当院には入院後、できるだけ早くに歩行練習が実施できるような環境が整っています。ご自身で立つことが困難であっても、懸架装置や長下肢装具を使用することで歩行練習の実施可能です。装具についてはご自身の身体にあったものを作成できます。



口から食べる練習

食べるをあきらめない



入院時、食べることが困難であっても、嚥下造影検査を実施し、飲み込みの安全性を確認しながら、摂食訓練を行うことができます。また飲み込みに必要な口腔機能の練習も積極的に実施しております。「口から食べること」をあきらめずにリハビリテーションを提供します。



生活を想定した練習

日常生活の自立を目指す



自宅生活では、「トイレに行く」、「お風呂に入る」、「着替える」などの生活動作が必要となります。当院では自宅に帰ってからもご自身で行えるように、リハビリハウスなどをはじめとした環境での練習を提供しています。





機能回復支援

食事、着替え、歯磨き、入浴などの日常生活の回復や自立を支援するために看護ケアチームが支援します。患者さまができることはご自身で行えるよう指導や見守りを行います。リハビリテーションの時間以外にも、日常生活動作の練習を通じて自立を支援します。



< Feature 01 >

チーム医療でサポート

医師・看護師・介護士・介護福祉士・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・歯科衛生士・薬剤師・管理栄養士・社会福祉士といった専門職が複数の視点で患者さま一人ひとりに最善の医療が提供できる様に取り組んでいます。



< Feature 02 >

パラマウントベッド社製 スマートベッドシステムを全120床に導入

最先端の技術を積極的に取り入れ、安心・安全で質の高い患者さま中心のチーム医療を提供します。



01 リアルタイムにモニタリング

マットレスの下に体動センサーを敷き込むだけで、身体に何も装着することなく寝返り、呼吸、脈拍、心拍などを検出して、睡眠、覚醒、心拍数・呼吸数・離床などの情報をリアルタイムでモニタリングできることで異常の早期発見につなげています。



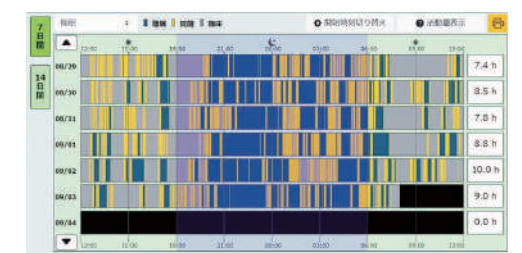
02 転倒・転落対策

患者さまの離床行動（起き上がり、座位、離床、見守り）を検知してナースコールにお知らせし、転倒・転落対策に活用しています。



03 睡眠状態の記録

睡眠記録は睡眠日誌として表示され、生活リズムや薬の効果を確認しながら、睡眠の質向上に役立てています。

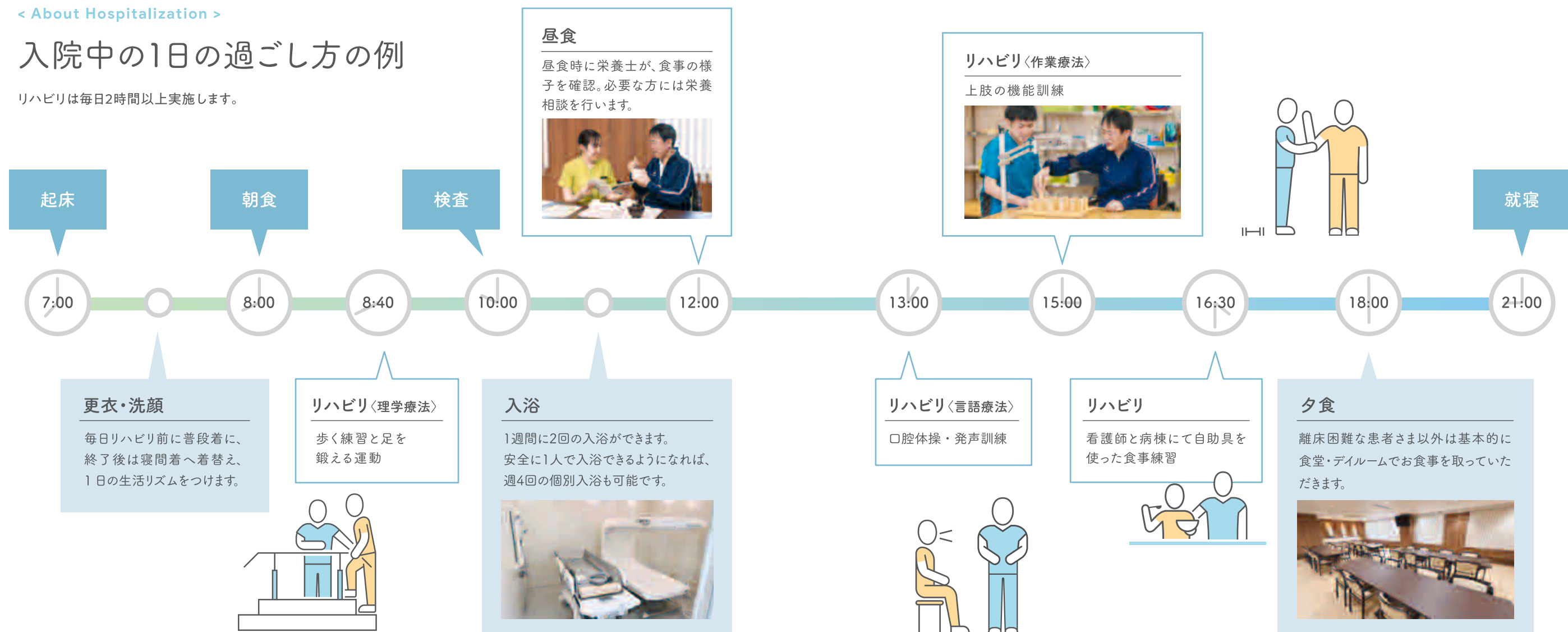


睡眠日誌

< About Hospitalization >

入院中の1日の過ごし方の例

リハビリは毎日2時間以上実施します。



リハビリを支える食事と栄養管理

食事とおして栄養面からリハビリテーションをサポートいたします。

当院では患者さまの体成分を測定分析する最新機器InBodyを導入し、正確な筋肉量や脂肪量を図る事で栄養状態の把握を行っております。適切な栄養管理を行う事でリハビリテーションの効果をより得る事ができます。

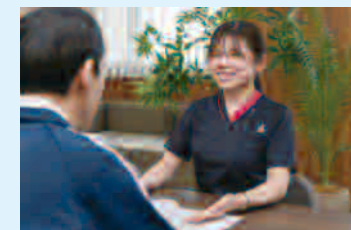
また食事が楽しみになるよう、様々な行事食を提供しております。



地域連携部のご紹介

他医療機関からの入院相談・入院中から退院までの過程で生じる不安や疑問、退院後の生活についての相談、医療機関・行政などの関係機関との調整を行っております。

患者さまやご家族が抱える心理的・社会的・経済的問題に関する相談に医療ソーシャルワーカーが多職種連携と協働を行い解決できる様に支援いたします。



お問合せ先

入院についてご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

TEL 06-6752-7532

FAX 06-6752-7533

